

令和6年度(2024 年度)第2回

国民健康保険運営協議会議事録

日 時： 令和7年(2025年)2月7日(金) 午後3時

場 所： 熊本市国際交流会館 3階 国際会議室

熊本市国民健康保険運営協議会

令和6年度(2024 年度) 第2回国民健康保険運営協議会議事録

1 開催日時

令和7年(2025年)2月7日(金) 午後3時～

2 開催場所

熊本市国際交流会館 3階 国際会議室

3 議事

- (1) 令和7年度国民健康保険料率等について(諮問)
- (2) その他

4 出席者

坂田委員 山本委員 山内委員 井上委員 田中(英)委員
宮崎委員 田中(弥)委員 丸目委員 小山委員 安田委員
西村委員 宮永委員 富田委員 藤本委員 紫垣委員
計15名

5 欠席者

谷口委員 宮本委員 徳永委員
計 3名

6 事務局

健康福祉局長 健康福祉部長 国保年金課長 国保年金課副課長
計 4名

7 傍聴人

0名

8 議事録署名委員

田中(弥)委員 藤本委員

- ・開会
- ・会長挨拶
- ・副市長挨拶
- ・議事
 - (1) 令和7年度国民健康保険料率等について(諮問)
 - (2) その他

【議長】： それでは、議事に入ります。
本日の会議の議事録の署名委員を藤本哲哉委員と田中弥興委員のお2人をお願いしたいと思いますですが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。お2人よろしくお願いします。
それでは、先ほど熊本市から諮問がありました、議事の一つ目となります
令和7年度国民健康保険料率等についての審議に入ります。事務局からの説明を求めます。

【事務局説明】：

＜令和7年度国民健康保険料率等について(諮問)＞資料2に基づき説明

＜国民健康保険法施行令の一部を改正する政令＞資料3に基づき説明

- 1 賦課限度額等について(諮問)
- 2 軽減判定所得基準について(参考)

＜令和7年度の委員改選について＞資料4に基づき説明

【議長】： 事務局からの説明が終わりました。ここで5分程度休憩を挟みたいと思います。

(休憩)

【議長】： 会議を再開します。先ほどの説明について、ご意見、ご質問等はございませんか。

【丸目委員】： 毎年問題になり、頑張っている収納率の向上について、収納率は指定都市の平均との差が2%ほどです。少しずつ上がってきていますが、この対策についてお尋ねさせてください。

また、人口が減ってきているので、保険料も減っていくことになります。ただ、2025年問題で後期高齢者が増えてくると、医療費が非常に増えてくる可能性があります。その中で医療費の削減のためには、ジェネリック医薬品の使用率はかなり上がってきていますが、予防事業が非常に大事であると思っています。病気をしないこと、病気をしても早めに治すこと、これを今どう取り組んでいるか教えてください。

【事務局】： 収納率については、令和5年度実績で 92.02%となっています。この数字は政令指定都市 20 都市中 18 位で、熊本県内では最下位です。県平均が 95.6%程度で、約 3.5%から 4%引き上げることが必要だと考えています。このため、数値目標を立て、収納率向上に取り組んでいます。保健予防事業については、まず特定健診により現状を把握することで、生活習慣病の重症化予防など様々な取組につなぐことが可能になります。このため、特定健診の受診率に関して専門業者による分析を実施し、どういう年代にどういうアプローチをすればいいか分析を重ね、受診率の向上を図っています。

【丸目委員】： 収入を上げることと、支出減らすことが大事だと思いますので、よろしくお願いします。

【議長】： 他にございませんか。

【山内委員】： 令和12年度の保険料率の県下統一を見据えると、熊本市の結果が県下に与える影響が非常に大きくなると思います。支出については制度改正や利用環境の変化など変動要因も大きいですが、収入については被保険者数の減少は如何ともし難い中、工夫ができるとすれば収納のあり方であろうと思います。これについては、一定の強化を熊本市にお願いして、ある程度の人件費等も含めて対応すべきものがあると思います。また、令和12年度の保険料率統一に向けた道標の中で、何年後にはこうなるという年度ごとの目標値を定めて進み、県下統一の時期が来た時に、熊本市のせいで不利になってしまうと言われたいないようにお願いしたいと思っています。

そのために思い浮かぶのは人的な問題で、職員のスキルや絶対的な職員数もそうですし、収納システム自体の工夫の仕方など、目標年限を決めて、来るべき統一までの間にやる目標として、できれば数値目標もそうですが、人的な要素も含めて取り組んでいただきたいと思います。これらの具体的な方向性を教えてください。

【事務局】： 内部的には令和12年度に向けた長期的な数値目標の試算はしています。この達成には、おっしゃるとおり、職員の質や量に課題を抱えています。現状のまま県下保険料水準統一を迎えた場合、県下全自治体に対し、保険料の引き上げを強いることとなるため、人的な体制を整備し、目標達成を確実なものにしていきたいと考えています。

【山内委員】： なかなか目標通りは難しいと思いますが、それに向けての手段として、例えば何年度はどういった体制にするとか、来年は希望人員に対して人数を何パーセントと充足させるかなど、一つ一つ足掛かりを辿っていけるような強化の仕方をお願いしたいと思います。

【議長】： 他にございませんか。貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。それでは、「令和7年度国民健康保険料率等について」の諮問につきましては、諮問どおり答申したいと思いますが、ご了承いただけますでしょうか。

(異議なし)

異議がないようですので、令和7年度国民健康保険料率等の諮問につきましては、諮問のとおり承認することとします。答申書の文案につきましては、会長に一任ということでお願いしたいと思います。
他にございませんか。特にないようですので、これをもちまして本日の審議は終了いたします。長時間にわたり、ありがとうございました。

・閉会

令和7年(2025年)2月7日

熊本市国民健康保険運営協議会

議長

署名委員

署名委員
